

保育所 シオン園保育所

2022 年度 事業計画

1 施設の基本理念

○保育の理念

「謙遜・献身・愛」 ～子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す～

○キリスト教保育の理念

「祈りや礼拝を通して、神によって命を与えられ、愛されていることを知る。」
「みんなの中のひとりとして、違いを認めつつ共に生きる生き方の基礎を培う。」

○職員のあるべき姿

「謙虚で献身し、慈愛に満ちた保育を行う職員を目指す。」

2 2021 年度の主な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナ感染症の発生事例が確認されて以降、日々の保育の中で園児の健康チェック表提出、マスク着用(3歳児以上)、換気、除菌、手洗い、手指消毒を徹底し、週末はおもちゃ殺菌保管庫を使用し遊具の消毒を行い感染症対策に取り組んだ。

保護者参加の行事は状況を見て、中止、延期、規模を縮小、短時間での開催にするか、慎重に検討して決断した。

園児の受け入れもコロナの状況を見て対応し、緊急メールを活用してコロナの感染者の情報を正しく伝え感染拡大防止に努めた。

(2) 環境保育を学ぶ

全職員が園内研修で「環境保育」について学び、環境構成を見直し子どもたちが主体的に遊べる環境作りと丁寧な保育を目指し保育を実践した。

0、1、2歳児クラスは、6月から育児担当制を取り入れ、試行錯誤しながらより良い保育が実践できるよう計画を立てて取り組んだ。

(3) 食育活動の充実

給食担当者が年長児を対象に毎月1回、「食育の日」を決めペープサートやエプロンシアター等を使い食育についての話をした。回を重ねる事に子どもたちの食に対する興味や関心が高まっていた。

3 2022 年度の取り組み方針

(1) 取り組み方針

職員一人ひとりが園の理念・方針を理解し、組織の中の一人として質の高い保育を目指していく

(2) 重点目標

- ①保育内容の充実を図る
- ②職員の資質向上
- ③職員間の連携・協力体制の強化
- ④職場環境の整備
- ⑤地域、関係機関との連携を図る
- ⑥子育て支援の促進
- ⑦施設経営の安定化

4 2022 年度の具体的な取り組み

(1) 保育内容の充実を図る

①環境保育の学びを深める

0、1、2 歳児クラスは、より家庭に近い保育が提供できるよう育児担当制について学びを深め、共通理解を持ち保育を実践できるようにしていく。

②縦割保育の実践

2023 年度より 3、4、5 歳児クラスは縦割り保育を検討。2022 年度は移行期間として、横(同年齢)のクラス活動だけでなく枠を超え 3、4、5 歳児を 3 つのグループに分け、縦割でのグループ活動も計画に入れる。5 歳児は年下の子のお世話をすることにより思いやりの心が芽生え、3、4 歳児は年長児と一緒に活動することにより遊びの経験や幅を広げ、子どもたちが主対的に遊べる環境を作っていく。

③行事を考察する

現在行われている行事が時代に即したのか検討して開催する。

10 月 運動会 3、4、5 歳児とその保護者参加

1 月 シオンフェスタ(生活発表会) 3、4、5 歳児とその保護者参加

0、1、2 歳児クラスは日々の保育を大切にし、流れる日課を作成。

保育参観では日頃の園での様子を見て頂くよう計画する。

6 月保育参観 全クラス保護者参加

2 月保育参観 0、1、2 歳児クラス保護者参加

(2) 職員の資質向上

- ①初任者新任研修・リーダー的職員研修・管理的職員研修等、経験年数や責務に応じた研修計画を立て、全職員が計画に基づき積極的に研修会へ参加でき

るようにする。

- ②経験や職務内容に応じた法人内の研修にも専門性の向上を図るため研修に参加する機会を与える。
- ③処遇改善の要件を満たすためのキャリアアップ研修に該当者を参加させるために、より綿密な研修計画を立て、バックアップ体制を整える。
- ④年1回は自己評価を提出して保育を振り返り、スキルアップのため目標設定の方向を話し合う。

(3) 職員間の連携・協力体制を強化する

- ①職員会、リーダー会、行事プロジェクト委員会で意見交換や情報交換をする中で、園や園児、他のクラスの状況等を知り、情報、課題等職員間で共有することができる。
- ②大きな行事の前は、クラスリーダーが中心となり協力し合い役割を分担して準備を進める。
- ③法人内施設の一体感プロジェクト、コスト削減プロジェクト委員会に出席し、意見交換をする中で各施設の働きを知り職員間の繋がりを深める。会議後は園内の職員に会議の内容を報告し皆で共有する。

(4) 職場環境の整備

- ①働きやすい環境をつくるために勤務ローテーションや勤務時間を工夫し、年次休暇の取得を推進する。
- ②労務管理を徹底し、処遇改善を行う。
- ③業務内容を精査し、職員の持っている力が発揮され、効率よく仕事ができる環境を作る。
- ④コロナの状況を見ながら職員の親睦、交流が持てる機会を計画する。

(5) 地域、関係機関との連携を図る

- ①地域の行事に積極的に参加し連携を図り、園の事業目的をアピールする。
- ②地域の小学校、老人施設を訪問し交流を図る。
- ③保育士養成校や看護師養成校学生の保育実習、中学校、高校の職場体験を受け入れる。(新形コロナウイルス感染症の動向をみて)

(6) 子育て支援の促進

- ①発達支援・育児不安など支援の必要な家庭については、丁寧に関りながら、園外の関係機関と連携し支援を促進していく。
- ②多忙や様々な困難を抱える保護者に寄り添い相談にのり保護者が望む親子関係が築けるよう支援する。

子育て支援事業・・・一時保育、育児講座、子育て相談、保育参加、延長

保育など

保護者との連携・・・送迎時、掲示板、玄関モニター、各クラスホワイトボード、ペンギンメール

園だより（月1回）、クラスだより（月2回）ブログ(月1回)、
ご案内・お知らせ（随時）

(7)施設経営の安定化・コスト削減の取り組み

- ①収入と支出の内容、人件費を見直し、安定的な経営を目指す。
- ②補助金事業や加算制度等による財源確保する。
- ③積極的に一時保育、実習生を受け入れ収入増を図る。
- ④職員一丸となりペーパーレス、電気、水道代を節約しコスト削減に取り組む。

5 新型コロナウイルス感染症対策について

収束が見えない新型コロナウイルス感染症については、引き続き国や県の動向をみて、園で出来る感染症対策を徹底し、感染拡大防止に取り組んでいきたい。

6 年間行事予定

- 4月 入園・進級式 イースター こどもの日
 - 5月 母の日
 - 6月 父の日 保育参観（全クラス） 健康診断 歯科検診
 - 7月 七夕 サマーカーニバル(5歳児)
 - 9月 敬老の日
 - 10月 運動会（3, 4, 5歳児） 幼児祝福式
 - 11月 感謝祭 感謝訪問(5歳児) 健康診断
 - 12月 5歳児クリスマス 全体クリスマス もちつき
 - 1月 シオンフェスタ（3, 4, 5歳児） 個人面談(5歳児)
 - 2月 節分 保育参観（0, 1, 2歳児） 消防訓練
 - 3月 ひなまつり 卒園式
- 〈毎月〉誕生会 避難訓練 子育て支援、相談（随時）

2022年度も子どもたちが主体的に活動し経験ができ、保護者の皆様と子どもたちの成長を共感し合えるような保育内容・行事活動を計画し保育を実践していきたい。